

■パート 1

●場所:主人公の家

(インターフォンが鳴り、玄関を開ける主人公)

こんにちは、はじめまして。
今月からこのマンションの管理人をすることになりました、三國映夏(みくにえいか)と申します。
今日はご挨拶のために、一軒一軒回らせていただいているんです。

(主人公:管理人?)

……はい、管理人です。
と言っても、まだ大学在学中の身ですが……。
元々管理人をしていたのは親類で、訳あってその方から譲り受ける形になったんです。

……もちろん、学生の身を理由に住人の方々に迷惑をかけるつもりはありません。
ここで暮らす方々のために精一杯のことができれば、と考えております。

(ヒロイン:主人公と部屋の様子を少し覗き込みながら)

失礼ですが、お兄さんは……独身ですか？

(主人公:妻と住んでいる)

(ヒロイン:性癖に引っかかり、内心ムラッと来る)

……そうですが、奥様と……♥

……ああいえ、住人の方々の家族構成も把握しておくのも管理人の役目ですので。
……それでは、今日はこの辺で。

お時間をいただきありがとうございました。
失礼します……。

(ヒロイン:去り際に、小さく笑う)

……ふいっ♥

(ヒロイン:去って行く)

■パート 2

●場所:地下駐車場

(主人公:車を停めて降りる)

(ヒロイン:近づき、主人公が車にロックをかけるタイミングで声をかける)

こんにちは、お兄さん。

……お一人ですか？奥様は？

(主人公:仕事)

……お仕事、ですか。

いえ……奥様にはまだご挨拶が出来ていなかったもので、残念です。

奥様はいつも、遅くまでお仕事をされているんですか？

……そうですか♥

だったら、家でお一人の時間……結構ありますよね♥

(ヒロイン:主人公に抱きつく)

ん……♥

突然ですけどお兄さん……♥

年下の女性に興味はありませんか？

……ふふっ♥そのままの意味です♥

例えば、私とか……♥

(主人公:結婚しているから)

……ふふっ、分かってないですね、お兄さん♥

ご結婚されているから、いいんじゃないですか……♥

(主人公:何をしているんだ、と焦る)

何って……♥ふふ♥

それは、お兄さんが一番分かっているんじゃないですか？

もちろん……♥イイコト、ですよ♥

(ヒロイン:耳舐めしながら手コキ開始)

んんうっ……♥じゅくじゅうっ……♥んんうっ……♥んちゅじゅるっ……♥れろっ♥

んうっ♥はむうっ……♥はむうっ……♥んうっ♥はむうっ……♥

ん……♥逃げちゃダメです♥

今、他の住人の方と出くわしたら……♥

変な想像をされてしまいますよ？

ちゅうっ♥ちゅくむうっ♥ちゅるうっ♥じゅるくっ……♥ちゅむっ……♥

じゅるっ……♡んんうっ♡じゅるちゅっ……♡ちゅうっ♡じゅるくっ……♡
年下の女性……♡嫌いではなさそうですね♡
だって……ふふっ♡

おちんぼ、どんどん大きくなってきていますから♡
ちゅくうっ……♡ぢゅくうっ……♡んちゅふう♡んちゅじゅるっ……♡じゅるうっ♡
んちゅっ……♡ちゅるるっ♡じゅぶ♡れろじゅりっ……♡じゅるちゅっ……♡

それとも……♡女性なら、誰に言い寄られてもこんなに硬くされるんですか？
ちゅくむうっ♡ちゅるるっ♡んちゅっ……♡ちゅむるっ♡んちゅっ……♡

(主人公:身じろぎして逃げようとする)

ん……♡暴れないでください♡
そんなに暴れるなら……♡

……こうです♡
ちゅむっ……♡じゅぶ♡んちゅっ……♡んんうっ♡ちゅくうっ……♡
んちゅっ……♡ちゅくっ……♡じゅぶ♡れろちろっ♡ちゅうっ♡

……ふふっ♡
さっきまでの意気込みはどうされたんですか？
シコシコ、気持ち良くて……♡

逃げる気がなくなっていましたか？
ちゅるうっ♡ちゅくうっ……♡れろっ……♡れろっ♡ちゅくっ……♡
はむっ♡はむっ♡ちゅうっ♡れろっ♡ちゅむっ……♡

いいんですよ♡気持ち良くなってくれて♡
そのために、シコシコして差し上げているんですから♡
はむっ♡ちゅぶっ……♡れろっ……♡ぢゅくうっ……♡んんうっ♡

……もちろん、このまま射精されても構いません♡
どんな顔で射精されるのか、興味がありますので♡
んちゅっ……♡んちゅじゅるっ……♡ぢゅくうっ……♡はむっ♡じゅぶ♡

ちゅるるっ♡ちゅるうっ♡んんうっ♡じゅるくっ……♡ちゅるうっ♡
……ですが、どうしてもダメとおっしゃるのであれば、ここで止めておきます♡
どうされたいですか？

じゅぶ♡ちゅくっ……♡じゅくじゅうっ……♡れろちろっ♡んんうっ♡
ちゅるるっ♡れろっ♡はむうっ……♡ちゅむっ……♡れろちろっ♡
……否定されないということは、そういうことですよね♡

いいですよ、出されてください♡

手できちんと受け止めて差し上げますから♡
どうぞ……♡遠慮なく……♡

じゅるっ……♡じゅくじゅうっ……♡ちゅるうっ♡じゅるっ……♡はむうっ……♡
ちゅるるっ♡んんうっ♡ふうふう♡じゅるくっ……♡んちゅじゅるっ……♡

じゅるっ……♡れろっ……♡んちゅっ……♡れろちろっ♡ふうふう♡
じゅるうっ♡ちゅむっ……♡れろっ……♡んうっ♡れろっ……♡
出してください……♡出して……っ♡イって……♡

(主人公のみ射精)

んっ……♡んんんうっ……♡
んあ……♡はあ……♡ふう……♡はあっ♡はあ……♡
……こんなに勢い良く出るものなんですね♡初めて見ました♡

……ずっしりと重くて、トロトロです……♡
ああ……♡手の平、お兄さんの精子まみれ……♡
感触と匂い……すごく、ドキドキしてしまいます……♡

いかがでしたか、お兄さん♡
とても気持ち良さそうに、おちんぼビクビク震えていらっしゃいます♡
続きは……また次の機会に♡

■パート 3

●場所：廊下

(主人公：自室へと向かう途中)

……ああ、お帰りのさいお兄さん♡
お仕事お疲れ様です♡
……ふうっ♡何を警戒されているんですか？

普通にご挨拶ただけですよ？
……今日も奥様は、お仕事ですか？
お忙しいお仕事をされているんですね。

結婚していても、一緒に過ごす時間があまりないご夫婦もいらっしゃるとは存じていますが……。
そうになると、子どもをどうするか、なんて話も出てきたりして……♡
……ああ、すみません、デリケートなことをお話ししてしまっ。

(主人公:実は……と、妻について愚痴をこぼしてしまう)

……そうなんですか。
奥様、まだお仕事が続けられたいのですね。
では……お兄さん♥

私が代わりに、子作りに協力するのはどうでしょうか？
ふふっ、冗談ではないですよ？
……お兄さんは一目惚れしたことはありますか？

私はあります……お兄さんに♥
初めてお会いした時に気づきました♥
ああ、これが運命の男性だって♥

……からかっていると思われていますよね。
本当だって証拠、お見せしたいので……♥
……こちらに♥

(ヒロイン:主人公の手を引きロビーの隅っこへ移動)
(ヒロイン:移動している最中の軽い吐息)

はあ……♥はあ……♥はあ……♥はあ……♥
マンションの中は、防犯上カメラがたくさん取り付けられていますが……♥
ここ、カメラの死角になっているんです♥
住人の方が通られることもほとんどありませんし……♥
……私が言いたいこと、分かりますよね？

ん……ふふっ♥
最初からふっくらしていませんか？おちんぼ♥
もしかして……♥期待していただけにいましたか？
でしたら、もっと……♥

(ヒロイン:股間を撫でつつ、もう片方の手で胸をはだける)

……おっぱい、好きですか？
揉み揉みされて構いませんよ♥
……触ってください♥

(ヒロイン:主人公の手を誘導し、胸を揉ませる)

んっ……♥
はあ……♥ふう……♥んっ……♥はあ……♥ふう……♥
……ふふっ♥
おちんちんが一気に大きくなりました♥

奥様とのおっぱいと比べていかがですか？
若い方がいいとは言いますが……♡

やはり、触り心地も違うものなのでしょうか♡
んっ……♡ふうっ♡んあ……♡ふう……♡んっ……♡
おちんぽ、苦しそうです♡失礼しますね♡

ふうっ♡んっ……♡はあ……♡ふうっ♡はあ……♡
ふう……♡ふうっ♡はあっ♡ふうっ♡はあっ♡
ん……♡ふふっ♡

根元までガチガチの勃起おちんぽ♡
どうして欲しいですか？
やっぱり……♡挿れたい、ですよ♡
ですが……♡

女性側が襲っても、今は非難されてしまいますから……♡
あくまでも合意の上がいいです♡
ですので……♡

(ヒロイン:素股を開始)

んんうっ……♡
うっ……♡ん……♡あうっ……♡んあっ♡んあっ♡
お兄さんに、考える時間を差し上げたいです……♡

それと……♡軽い、おまんこのお試しも……♡
ん……♡ああっ♡うっ……♡はうっ……♡んあう……♡
擦りつけているだけですから……♡

不倫にはなりませんよ……♡ギリギリ♡
よく考えてください……♡

ちゅくうっ……♡はむっ♡んちゅっ……♡じゅるっ……♡ちゅくうっ……♡
ああっ……♡じゅぶ♡れろじゅりっ……♡ちゅくうっ……♡れろちろっ♡
今なら、女子大生おまんこ……♡

生ハメできてしまいますよ♡
うあ……♡んちゅっ……♡ちゅぶっ……♡ん……♡んんうっ♡
んんうっ……♡れろじゅりっ……♡ちゅくむうっ♡ちゅるうっ♡んちゅっ……♡

仕事ばっかりの奥様より……♡
お兄さんの赤ちゃんを孕みたがってる子の方が……♡
そそられるんじゃないですか？

れろちろっ♥はむっ♥ふあっ……♥れろっ……♥ちゅくむうっ♥
ちゅむっ……♥じゅるっ……♥ああっ♥ちゅくむうっ♥ん……♥
ほら、決めてください……♥

ハメるのか、ハメないのか……♥
れろっ……♥はむっ♥あふうっ……♥れろっ……♥んんうっ……♥
ちゅるうっ♥れろっ……♥れろじゅりっ……♥ちゅくっ……♥あっ♥

ちゅくむうっ♥じゅぶ♥あはあ……♥あはあ……♥れろじゅりっ……♥
うあ……♥ああっ♥ああっ♥あん……♥はむっ♥
ああっ……♥ちゅむっ……♥ちゅくむうっ♥ちゅくうっ……♥ちゅくうっ……♥

(ヒロイン:寸止めするも耳舐めは継続)

じゅるうっ♥れろっ♥じゅくじゅうっ……♥
このまま、イかせてもらえと思いましたか？

一人だけ気持ち良くなるなんてずるいです♥
するなら、ハメて……一緒に気持ち良くなりたいです♥
さあ、どうするのか……選んでください♥

ちゅるうっ♥ちゅむっ……♥ちゅるるっ♥ちゅうっ♥んちゅふう♥

■パート 4

●場所:廊下

(主人公:ヒロインの誘惑に負け、壁に押しつける)

んっ……♥ふっ♥
決心してくださったんですね♥
いいですよ……♥おまんこ準備は出来ています♥

ですからお兄さんのその、ガチガチ勃起おちんぼ……♥
ハメてください……♥
腰、突き出して……♥

(主人公:立ちバックで挿入)

あうっ……♥んっ……♥んんんうっ♥
はあ……♥はあっ♥ふう……♥はあ……♥んっ……♥
セックス……♥こんな感じになるんですね♥

はあっ♥んうっ……♥はあっ♥はあ……♥んうっ……♥
……ああ、言っていませんでしたか？
私、お付き合いしたこともないので……今が初めてです♥

……一生に一度しかない乙女の初めてを、お兄さんに捧げてしまいましたよ♥
痛みもほとんどないので、そのまま突かれて構いません♥
いえ……突いてください♥

(主人公:立ちバック開始)
(ヒロイン:声を抑えながら悶える)

あう……♥んう♥はうっ……♥ああっ♥あっ……♥
あはあ……♥ああっ……♥あうっ♥ああっ……♥あっ♥
これが……♥おちんぽセックス……♥

オナニーとは……♥すべてが違います……♥
太さも……♥深さも……♥気持ち良さも……っ♥
あっ♥あっ……♥ああっ……♥んあっ♥んんう……♥

んあう……♥あはあ……♥あはあ……♥ふっ……♥ふっ……♥
ふっ……♥んあう……♥あはあ……♥ああっ……♥んう♥
お兄さん……♥激しくて……♥

声を押し殺すのが、精一杯です……♥
あん……♥んあ♥んあう……♥ううっ……♥ああっ……♥
あっ……♥はあっ……♥うっ……♥ああっ♥あうっ……♥

もしかして、奥さんと……♥
ご無沙汰でしたか……♥
んう♥うっ……♥んんう……♥あはあ……♥あう……♥

あう♥んあ♥ううっ……♥ふっ……♥うっ……♥
そんな中……♥現役女子大生の生ハメおねだり……♥
こんなの……♥健全な男性なら、断れませんか……♥

ふっ……♥あう……♥あはあ……♥んあっ♥んう♥
あん……♥んんう……♥あっ……♥あっ……♥あっ……♥
んあっ♥あはあ……♥うあ……♥はっ……♥はあっ……♥

腰を……♥掴むのも、いいですが……♥
是非、おっぱいも……♥
お兄さんが気に入ってくださった、おっぱい……♥
揉み揉みしながら……♥

(主人公:胸揉みしながら)

(ヒロイン:快感が強まるも、どうにか抑える)

あうっ♥ああっ……♥あうっ……♥んあっ♥はっ……♥
……っ♥んう……♥んあ……♥はっ……♥あう♥
ああっ♥あうっ……♥んうっ♥んうっ♥あっ……♥

胸……♥揉まれながらのセックス……♥
こんなに……♥気持ちのいいものなのですね……♥
ううっ♥あう……♥あうっ……♥んんう♥あはあ♥

あう♥ううっ♥んあう……♥……っ♥ああっ♥
いえ……♥それだけではないです……♥
この……♥いつ人が通ってもおかしくない、ここでするから……♥

背徳感から……♥悶えてしまうんですね……♥
あっ♥んあ……♥あっ♥あん……っ♥ううっ♥
あう……♥あん……っ♥うっ♥ああっ……♥ああっ♥

んう……♥んあ……♥ああっ……♥あうっ♥あっ♥
私……♥声、きちんと……♥
抑えられていますか……？

あっ♥ああっ♥んあう……♥あっ……♥うあ♥
はうっ……♥……っ♥ああっ♥ああっ♥んう……♥
もしかしたら……♥この声……遠くまで漏れていて……♥

誰かに……♥聞かれているかもしれませんね……♥
そう思うと……♥背中が、ゾクゾクとしてしまって……♥
ん……♥んうっ♥ふっ……♥ううっ♥あうっ♥

あっ♥んう……♥んあ……♥うっ♥ん……♥
ああっ♥ああっ♥あう♥あうっ♥んう……♥
ねえ、お兄さん……♥

もし、この声を聞かれている相手が……♥
奥様だとしたら、どうしますか……？

(ヒロイン:さらに勃起する主人公のペニスに悶え、絶頂に向けて高まる)

ふっ……♥んんうっ♥
んう……♥んう……♥ん……♥……っ♥んあう……♥
あうっ♥んうっ♥あう……♥うっ♥ああっ♥
お兄さんの……♥おちんぼ……♥
今、中で……♥一回り、一気に大きくなりました……♥
ああっ……♥ああっ♥あう……♥ん……♥うあ♥

んう……♥ああつ……♥んう……♥ああつ……♥はあつ♥
お兄さんも……♥背徳感で……♥
おちんぼ、発情してしまっているんですね……♥

ああ♥ああ♥あ♥はあ♥
ああ、これは……♥

私……♥お兄さんをお待ちすることが……♥
できないようです……♥
ああつ……♥ん……♥んんう♥あはあ♥う♥
一足先に、おまんこ……♥失礼します……♥

あう♥……♥はう♥……♥うう♥あ♥
ああ♥あ♥ふ♥……♥ふ♥……♥あう♥
ああ♥……♥んあ♥……♥あ♥う♥あ♥……♥
ん♥……♥イク♥……♥

(ヒロインのみ絶頂を迎える)

——ん♥……♥んんう♥♥♥
はう♥……♥んんう♥ん♥……♥あはあ♥あ♥
あはあ♥んんう♥は♥……♥うう♥うう♥

大丈夫です……♥そのまま、続けられてください……♥
いった後に……♥おまんこ、刺激され続けるの……♥好きですし……♥
それに……♥

あはあ♥あん♥……♥あ♥う♥あはあ♥
う♥……♥……♥あ♥……♥あはあ♥
私ばかり……♥気持ち良くなってしまうは……♥

子作り……♥できませんから……♥
あ♥……♥ふ♥……♥んう♥う♥あ♥……♥
う♥……♥あ♥……♥……♥……♥んあ♥……♥

あ♥……♥あ♥……♥んう♥あ♥……♥
今……♥またおちんぼ、反応しました……♥
想像してしまいましたか……？

現役女子大生に……♥中出し射精……♥
いいんですよ……♥
私が望んでいるのですから……♥

ん……♥あ♥……♥ん♥……♥あ♥……♥

ああっ♥はあっ♥ああっ……♥あっ♥あっ♥
お兄さんの、赤ちゃん……♥

奥さんより先に、孕みたい……ですから……っ♥
だから……♥来てください……♥
あう♥……っ♥ああっ♥あっ……♥ああっ♥

んあう……♥ううっ♥ああっ♥ああっ♥んんう♥
あはあ♥んうっ♥ああっ♥ううっ♥あう♥
そのまま……♥中にいつ……♥

んあっあっあっあっああああっ……♥

(主人公:外出し射精)

んっ……んんんんうっ……♥
ふう……♥ふうっ♥はあ……♥はあ……♥ふう……♥
お尻、あったかい……これ、精液ですか……？

中に出されていいと言ったのに……♥
さすがに、抵抗がありましたか？
……これだけでもかなり……♥おまんこ、感じて……♥悶えてしまいますが……♥
……いいですよ♥
まだまだ、チャンスはありますから……♥
今日はここまでです♥
次回は……中出し、お願いしますね♥

■パート 5

●場所:マンションロビー

(主人公:妻と買い物帰りに、ヒロインに出くわす)
(ヒロイン:むすっとした様子で)

……ああどうも、こんにちは。
ええと、お隣の方は……？
もしかして奥様でいらっしゃいますか？

(主人公妻:はじめまして)

……こちらこそはじめまして。
ようやくお会い出来ましたね、奥様。

私が新しい管理人です。

どうぞよろしくお願いいたします。

奥様はお仕事が忙しいそうで。

お兄さん……旦那さんの方とは、もう何度か顔を合わせているのですが。

……ね、そうですね？

(主人公:無視する)

(妻:態度を詫げる)

……あ、いいえ、大丈夫ですよ奥様。

旦那さん、体調でも悪いんですよね？

いつもは笑顔で接していただいていますから。

お買い物帰りでしたか？

夫婦の貴重な時間に声をかけてしまい申し訳ございません。

では、私はこれで……。

(ヒロイン:立ち去ろうとするも、少し歩いて立ち止まる)

……ああ、そうでした。

すみません、もう一つだけよろしいでしょうか？

実はお二人がお住まいの階で、持ち主不明の落とし物が見つかりまして……。

同じ階の皆様に、ご自分のものではないか確認いただいているんです。

お二人は、まだでしたよね？

でしたらお手数ですが、お時間のある時で構いません。

管理人室にいらっしゃっていただけますか？

すみません、お伝えしたいのはそれだけです。

では、今度こそ失礼致します……。

(ヒロイン:去って行く)

■パート 6

●場所:管理人室

(主人公:ノックしつつ部屋に入る)

(ヒロイン:事務的に対応)

ああ、いらっしゃいましたか。
落とし物の件ですよね。

(ヒロイン:引き出しを開きながら、それっぽく振る舞う)

お話ししていた落とし物はこれです。
先日もお話しましたが、お兄さんの階の廊下に落ちていたそうです。
ご自分のものかどうか、手に取って確認されてください。

(主人公:ヒロインに近づく)

……かかりましたね♥

(ヒロイン:しゃがんで腰にしがみつく)

……捕まえました♥
今日は逃がしません♥

どういうわけですか、この間のあの態度……♥
奥さんの前だからって……♥

あんなに私の中で、気持ち良くなっていたのに……♥
忘れてしまったというなら、思い出させて差し上げますね♥
私のお口おまんこで……♥

(ヒロイン:フェラ開始)

んうっ♥じゅくじゅうっ……♥ちゅくうっ……♥ふうふう♥んうっ♥
ちゅむるっ♥ちゅむるっ♥んうっ♥じゅるうっ♥じゅぶ♥
……ふうっ♥

舐める前からもう、半勃ちじゃないですか、おちんぼ♥
今日も期待してくれていたんですか♥
んちゅっ……♥んちゅふう♥ふうふう♥ちゅくうっ……♥んちゅふう♥

んんうっ♥じゅぶ♥じゅるっ……♥ちゅくっ……♥じゅぶ♥
あんなに冷たい態度取ったのに……♥
お兄さんって、一方的ですよ♥

ちゅるるっ♥ちゅくうっ……♥れろっ……♥ちゅむっ……♥ちゅるうっ♥
んちゅっ……♥んちゅっ……♥んんうっ♥ちゅくっ……♥んんうっ……♥

(主人公:どうにか逃げようと身をよじる)

(ヒロイン:逃げないように、啜えフェラに)

ん……♥逃げないでください……っ♥
れろちゅっ……♥んじゅる♥れろっ……♥はむっ……♥ちゅぶうっ……♥
んんうっ♥ちゅぶるっ♥れろっ……♥んちゅうっ……♥んじゅくっ♥

腰……♥震えてますけど……♥
迷ってるんじゃないですか……♥
ちゅちゅっ……♥んじゅる♥んんうっ♥ちゅぶるっ♥んじゅくっ♥

このまま逃げるか……♥
私のお口の中、おちんぽで堪能するか……♥
じゅうっ♥じゅうっ♥ちゅぶるっ♥じゅむっ……♥じゅるっ……♥

れろっ……♥ちゅくっ……♥ちゅぶっ……♥はむうっ……♥はむうっ……♥
れろちゅっ……♥はむっ……♥ちゅりゅっ♥れろちゅっ……♥じゅるっ……♥
では、このままおっぱい使ったら……♥
迷いなんて、消えてなくなってしまうんじゃないしょうか♥

(ヒロイン:パイズリ開始)

んあうっ♥ちゅりゅっ♥ちゅるっ♥ちゅちゅっ……♥ちゅぶるっ♥
ちゅぶっ……♥ちゅりゅっ♥ちゅるっ♥ん……♥んんうっ♥
もうわかっているんですよ？

お兄さん……♥私のおっぱい、大好きだって……♥
んあっ♥はむっ……♥ちゅるっ♥んじゅくっ♥……♥んっ♥
この間も、たっぷり揉み揉みしていましたから……♥

ちゅくっ……♥ちゅくっ……♥んんうっ♥ちゅりゅっ……♥んじゅくっ♥
ぎゅっと締め付けられ……♥
本物おまんこ変わらない、おっぱいおまんこです♥

おっぱいでシコシコしながら、お口でしゃぶれば……♥
ちゅぶるっ♥じゅうっ♥じゅく……♥んっ♥ちゅるっ♥
れろっ……♥じゅうっ♥ちゅりゅっ♥じゅく……♥んあうっ♥

この間のエッチ……♥思い出してくれるんじゃないですか♥
ん……♥ちゅむっ……♥じゅく……♥んちゅうっ……♥……♥んっ♥
あ……♥んあっ♥ちゅっ……♥ちゅっ……♥んちゅっ……♥

中に出してって……♥お願いしたのに……♥
おちんぽ抜いて……♥外に出してしまいましたから……♥
今日は……♥中に……♥

れろっ……♥ちゅむっ……♥じゅく……♥ぢゅぶるっ♥んっ……♥
んちゅうっ……♥ちゅりゅっ♥ぢゅるっ♥ちゅむっ……♥んっ♥
れろっ……♥じゅっ♥ぢゅぶるっ♥れろっ……♥んっ♥

このまま……♥お口の中……♥
お口おまんこに中出し……♥お願いします……♥

じゅるっ……♥ちゅっ……♥ん……♥ちゅりゅっ♥んっ♥
ぢゅぶるっ♥んっ……♥ぢゅぢゅっ……♥ぢゅぶっ……♥……♥んっ♥
出して……♥お口……♥いっぱい……♥

(主人公:射精)
(ヒロイン:口内で受け止めつつ、そのまま精飲)

んっ……んんんうっ……♥
……ごくっ♥

んあ……♥はあ……♥はあ……♥ふう……♥ふうっ♥
……ふうっ♥
やっとしてくれましたね、中出し射精♥

ああ……♥濃厚で、量が多くて……♥
鼻の奥まで、精子の匂い……♥お兄さんの匂いでいっぱいです♥
これは……♥癖になってしまいそうです……♥

■パート 7

●場所:管理人室(パート 6 の続き)

(主人公:ヒロインに押され、床に座らされる)
(ヒロイン:主人公の膝に跨がる※未挿入)

しっ……静かに♥
言っていませんでしたけど、ここの前って住人の方が通られるんですよ♥
声でバレて、覗かれてしまったら大変ですね♥
抑えながらしないと……♥
入りますよ……♥

(ヒロイン:対面座位で挿入)

んああっ……♥
ふう……♥はあ……♥ふう……♥ふう……♥はあ……♥

今日こそ、中に出してもらいますからね……♡

(ヒロイン:対面座位で腰振り開始)

はうつ……♡あうつ♡あん……♡……つ♡ふつ……♡
ああつ♡んあう……♡はうつ……♡ん……♡あはあ……♡
ううつ……♡んあ♡あうつ♡んんう……♡ふつ……♡

我慢……♡しているつもりですが……♡
声……♡ちゃんと、抑えられていますか……？
あっ♡ああっ♡あっ♡……つ♡ああっ……♡

ううつ……♡ううつ……♡あうつ♡んう♡ううつ……♡
こんなに……♡声、出てしまうのは……♡
お兄さんのせいでも……あるんですから……♡

ん……♡んあ♡ふつ……♡はつ……♡んあ♡
お兄さんの……♡おちんぽ、気持ち良くて……♡
堪えられないんですから……♡

あっ……♡んんう……♡あうつ……♡あはあ……♡あうつ……♡
もちろん、手伝ってくれますよね……？

(ヒロイン:キス開始)

ぢゅぶるっ♡れろっ……♡ぢゅぶるっ♡ふう……♡ふう……♡ぢゅくっ♡
んんうっ♡んあうっ♡……♡んっ♡はむっ……♡んんうっ……♡
んっ♡ぢゅっ……♡んあうっ♡ぢゅくっ♡……♡んっ♡

舌……♡もっと絡ませてください……♡
バレてしまいますよ……♡
じゅく……♡んんうっ♡んあっ♡ぢゅぶるっ♡んぢゅっ……♡

ぢゅりゅっ♡ぢゅっ……♡れろっ……♡んんうっ……♡じゅうっ♡
もっと奥まで……♡
私のエッチな声……♡塞いでください……♡

ん……♡んんうっ♡
ほら……♡誰か来ましたよ……♡
……♡んっ♡……♡んうっ♡ぢゅくっ……♡れろっ……♡んぢゅうっ……♡
じゅるっ……♡んぢゅうっ……♡んっ……♡んじゅくっ♡ぢゅっ……♡

れろっ……♡ぢゅくっ♡んっ……♡んあっ♡んぢゅうっ……♡

よかった……♡バレなかったみたいですね……っ♡
んんうっ……♡ぢゅぢゅっ……♡ちゅむっ……♡んんうっ……♡ぢゅるっ♡

でも……♡誰も想像しませんよ……♡
管理人室で……管理人と既婚者の男性が……♡
こそこそエッチしてるなんて……♡

ん……また……♡
んちゅっ……♡ちゅくっ……♡じゅっ♡ちゅっ……♡んんうっ……♡
じゅく……♡じゅっ♡はむっ……♡れろっ……♡れろっ……♡

んあっ♡ちゅむっ……♡……♡んうっ♡ちゅりゅっ♡んじゅくっ♡
ドキドキしてしまいます……♡
ですが、今の方も……♡……いえ♡

もしかしたら、見られていたかも知れません……♡
見て見ぬ振りを……♡してくださってるだけかも……♡
んっ♡じゅるっ……♡んちゅっ……♡んあうっ♡じゅっ♡

じゅく……♡じゅむっ……♡……♡んっ♡……♡んうっ♡んちゅっ……♡
そう考えたら……♡もう、そうとしか思えません……♡

ああ、また……♡
……♡んうっ♡じゅっ♡はむっ……♡じゅっ♡れろっ……♡
ダメです……♡これ、もう……っ♡
ぢゅぢゅっ……♡ぢゅぢゅっ……♡……♡んうっ♡じゅるっ……♡んっ♡イク……♡

(ヒロインのみ絶頂を迎える)

——んっ……んんんうっ♡♡♡
れろっ……♡ぢゅぶるっ♡ちゅむっ……♡ちゅりゅっ♡んじゅくっ♡
ちゅくっ……♡んんうっ……♡ぢゅぶっ……♡ぢゅぢゅっ……♡ぢゅぶるっ♡

一度……♡イってしまったら……♡
気持ちいいの……♡止まりません……っ♡
じゅっ♡はむっ……♡んじゅくっ♡……♡んうっ♡んあっ♡

ちゅっ……♡ふう……♡ふう……♡ぢゅぢゅっ……♡んんうっ♡れろっ……♡
じゅく……♡はむっ……♡んじゅくっ♡……♡んっ♡ぢゅりゅっ……♡
また……イクます……っ♡

(ヒロインのみ絶頂を迎える)

——んっ……んんんんうっ……♡♡♡
ぢゅるっ♡……♡んっ♡んあうっ♡んっ♡れろっ……♡

じゅるっ……♡ん……♡じゅむっ……♡んんうっ♡ん……♡

……♡んうっ♡んっ……♡ちゅくっ……♡ぢゅぶっ……♡じゅるっ……♡
はむっ……♡ちゅくっ♡ぢゅりゅっ……♡ちゅっ……♡じゅく……♡
んんうっ♡んんうっ♡……♡んうっ♡れろっ……♡じゅむっ……♡
イク……♡うううっ……♡

(ヒロインのみ絶頂を迎える)

——んふんんうっ……んんっ♡♡♡

(ヒロイン:背中を伸ばし、主人公を胸に押しつけ授乳プレイ)

あっ……♡ああっ……♡ふっ……♡あうっ♡んんう♡
ううっ♡うっ♡あん……っ♡うっ♡んう……♡

お兄さんの大好きな……♡
女子大生おっぱい……♡
舐めて……吸ってください……っ♡

あうっ……♡はっ……♡あっ……♡あう♡ふっ……♡
ふっ……♡うあ♡あうっ……♡あうっ……♡ああっ……♡
気持ちいいです……♡お兄さん……♡

声……♡頑張って抑えますから……っ♡
たくさん……♡ちゅばちゅばあって……♡

(ヒロイン:自分の手で口を押さえながら悶える)

ん……♡うっ♡あはあ♡はあっ♡ああっ……♡
あうっ♡あっ……♡あん……っ♡あう♡はうっ……♡
これえ……♡奥まで……♡

おちんぼ、擦れて……♡
あはあ♡あはあ♡ああっ……♡あうっ♡んあ……♡
うあ♡んう……♡あう……♡あっ……♡あっ……♡

この間……♡初めてを捧げた時に……♡
射精する前の……♡お兄さんのおちんぼの反応……♡
覚えて……♡おきました……♡

もう……♡限界、ですよネ……♡
あっ……♡あう♡あっ♡ふっ……♡はっ……♡
あっ♡はうっ……♡あん……っ♡んんう♡んあう……♡

今日は……♥おちんぼ、抜かれてしまう心配……♥ありませんから……♥
今度こそ……♥おまんこ中出し……っ♥
はうっ……♥あっ♥うっ♥あはあ♥あはあ♥

んあ……♥ああうっ♥
ふっ……♥あっ♥あはあ♥はあっ♥あっ♥
いいですよ、お兄さん……♥そのまま……っ♥

今、出してもらったら……♥私もまたあ……♥
んあ……♥んあう……♥んう……♥あっ♥はうっ……♥
ああっ♥あっ……♥ああっ♥んうっ♥んあ……♥

ください……♥熱いの、中にいっ♥
んっ♥んっ、んあっはっああっ……♥んんんんうっ♥♥♥

(主人公:射精)
(ヒロイン:絶頂を迎える)

——んっ……んんう〜〜〜っ♥♥♥
ふうっ♥ふう……♥ふう……♥はあっ♥んうっ……♥
んうっ……♥ふう……♥はあっ♥んっ……♥ふうっ♥

お兄さん……♥おまんこで、感じますよ……♥
おちんぼ……♥大量射精……♥
約束、守っていただけたんですね……♥ありがとうございます……♥

本物おまんこ中出し……♥こんな感覚なんですね……♥
熱くて……♥ドロドロで……♥
おまんこ、ヒクヒクって震えて……♥喜んでいます……♥

それに……すごく幸せで……♥
大好きな人の赤ちゃんの種……♥注いでもらえるのは……♥
こんなにも幸福に満ちたものなんですね……♥

もうしばらく、このままで……♥
ふう……♥ふう……♥ふう……♥ふう……♥

■パート 8

●場所:主人公の寝室(夜中)

(主人公と妻:ベッドで並んで寝ている状態)

(ヒロイン:マスターキーを使って部屋に忍び込んでくる)

……お兄さん♥

ふっ、マスターキーを使ってしまいました♥

管理人として、あってはならないことですが……♥

その代わりに……♥エッチ、していいですから♥

許していただきますよね？

(主人公:妻が横に寝ていると指摘)

……はい♥眠ってらっしゃいますね、奥様♥

とても深い眠りのようです♥

声を我慢していれば、奥様が起きられることはないでしょうから……♥

だから……♥お願いします♥

今日は、お兄さんが上に……♥

(主人公:正常位体勢になり挿入準備)

(ヒロイン:挿入待ちの興奮した吐息)

ふうっ♥ふう……♥ふうっ♥はあ……♥はあ……♥

はあっ♥はあっ♥ふうっ♥ふうっ♥はあ……♥

(主人公:正常位で挿入)

ふっ……んっ、んんんんうっ……♥

ふう……♥はあ……♥ふう……♥ふうっ♥ふう……♥

お兄さん……♥今日は特に、ドキドキしてしまいますから……♥

この間と同じ……♥お口、お借りします……♥

(主人公:正常位開始)

じゅるっ……♥んじゅくっ♥……♥んうっ♥んんうっ……♥じゅく……♥

んっ♥んちゅうっ……♥ちゅくっ……♥ん……♥ちゅくっ……♥

ふう……♥ふう……♥はむっ……♥んじゅくっ♥ちゅぶっ……♥ちゅっ……♥

ほら……♥大丈夫です……♥

お兄さんの……♥情熱的なキスで……♥

お口……♥塞いでいただければ……♥

じゅく……♥……♥んうっ♥ちゅぢゅっ……♥ん……♥んっ……♥

ちゅむっ……♥ふう……♥ふう……♥んあっ♥はむっ……♥んちゅっ……♥

ちゅくっ♥んじゅくっ♥んちゅうっ……♥ぢゅりゅっ……♥んっ……♥

奥様の隣で……♥お兄さんのおちんぽを味わうなんて……♥
今までで、一番の……♥罪悪感と……背徳感……♥
それと……♥快感です……♥

ちゅむっ……♥ちゅむっ……♥ちゅむっ……♥んちゅうっ……♥れろっ……♥
ちゅくっ……♥んんうっ……♥ちゅくっ……♥ん……♥んあっ♥
んじゅくっ♥れろっ……♥ふう……♥ふう……♥んんうっ……♥ぢゅりゅっ……♥

お兄さんもですよね……♥
愛する奥様の隣で……♥
女子大生の生おまんこ……♥ハメまくって……♥
ぢゅぶるっ♥ぢゅるっ♥ふう……♥ふう……♥ちゅむっ……♥んんうっ……♥
んじゅくっ♥じゅく……♥……♥んうっ♥んあうっ♥んっ……♥
ぢゅぢゅっ……♥……♥んうっ♥ふう……♥ふう……♥んんうっ♥んちゅっ……♥

私、きつと……♥
お兄さんが独身だったら、こんなに……♥
好きになっていなかったかも……知れません……っ♥

……♥んっ♥ぢゅりゅっ♥んっ……♥……♥んうっ♥んちゅうっ……♥
ぢゅぶっ……♥んんうっ♥んんうっ♥……♥んっ♥んじゅくっ♥
お兄さんが既婚者……♥

別の人のものだったから、私……♥
れろっ……♥じゅむっ……♥んあうっ♥んちゅうっ……♥ん……♥
ちゅっ……♥ぢゅりゅっ♥ぢゅりゅっ……♥んんうっ♥れろっ……♥

あ……♥んんんうっ♥お兄さん、私……♥
またお先に……♥失礼します……っ♥
はむっ……♥じゅうっ♥んあっ♥ちゅっ……♥ぢゅるっ♥

んあっ♥ん……♥じゅく……♥ちゅくっ♥じゅるっ……♥
ぢゅぢゅっ……♥……♥んっ♥ちゅくっ♥んんうっ……♥じゅく……♥

(ヒロイン:絶頂と同時に母乳が噴き出る)
(主人公:驚き、一度腰を止める)
(ヒロインのみ絶頂を迎える)

——んっ……♥んんんんう～～♥
ふう……♥はあっ♥はあ……♥ふう……♥はあ……♥
お兄さん……？

……♥ん……♥また、噴き出してしまいましたか♥
これ、母乳です♥
たぶんこの間のエッチで、受精してしまったみたいで……♥

イったり、ちょっとした刺激で噴き出してしまって……♡
匂いで奥様にバレてしまいますよね……♡
なので、お兄さん♡
吸って、こぼさないようにしてください……♡

(主人公:授乳しながら正常位腰振り再開)

ん……♡んあう……♡あん……♡はあっ♡ん……♡
ふっ……♡ふっ……♡んあ……♡はっ……♡あうっ♡
キスしながらの……エッチ……♡

とてもお気に入りです……♡でも……♡
あっ♡うあ♡ああっ♡んうっ♡うっ♡
あん……♡ああっ♡ああっ……♡あん……♡あっ……♡

おっぱい……♡吸われながらのエッチも……♡
私……♡大好きになりました……♡
ふっ……♡あうっ……♡あうっ♡あっ♡うあ♡

全部……♡お兄さんから教えていただいたことばかりです……♡
あうっ……♡んんう♡あっ♡ああっ♡はあっ♡
ああっ♡うあ♡んあっ♡あうっ……♡んあう……♡

もっとたくさん……♡
色んなことを……♡教えて欲しいです、お兄さん……♡
あうっ♡……♡ああっ♡ううっ♡……♡

ああっ♡ううっ♡あう……♡んあう……♡あん……♡
あっ♡あっ♡ふっ……♡うあ♡はっ……♡
だから、まずは……♡おまんこに……♡

お兄さんのおちんぽが……♡世界で一番、気持ちいいこと……♡
教え込んで……♡ください……♡
あっ♡ふっ……♡あう♡ううっ♡んうっ♡

うっ♡あっ♡んあう……♡はうっ……♡あうっ♡
ああっ♡あっ♡んあ……♡んあっ♡んあ……♡
もう……♡赤ちゃん、できてしまいましたから……♡
中出し……♡躊躇う必要はありません……♡
ん……♡ああっ♡んあっ♡ふっ……♡ああっ♡
おちんぽ快樂の……♡ためだけに……♡

おまんこ中出し……♡ください……♡
私も……♡中出しされてイク時が……♡

一番……♥悶えてしまいますから……♥

うあ♥あつ……♥んあつ♥ううっ♥あうっ♥
んあつ♥ああつ♥んう……♥ああつ……♥あう……♥
今度は……♥ご一緒に……♥

おちんぽとおまんこ……♥仲良く……っ♥
うっ♥あつ♥うあ♥あつ♥あはあ♥
ん……♥んんう♥はっ……♥んあ……♥あう♥

んあう……♥うあ♥ああつ……♥ふっ……♥んあ……♥
出してください……♥中に……たっぷり……っ♥
んあつ、ああつ♥ん、んんんうっ……イク……っ♥

(主人公:射精)

(ヒロイン:声を押し殺しながら絶頂)

——んっ……んんんう~~~~っ♥♥♥
ああ……♥お兄さん……今日は特に、すごい量です……♥
お隣に、奥様がいらっしゃるからですか……？
あふれ出しそうなくらいたっぷりで……♥おまんこ、悶えてしまいます……♥
はあっ♥はあ……♥はあ……♥ふう……♥ふうっ♥
はあ……っ♥はあ……♥はあ……♥はあ……♥はあっ♥
奥様……♥起きませんでしたね♥

大丈夫です♥
バレないようにきちんと出来ますから……♥
だから……お兄さん♥
これからも、たくさんエッチ……しましょうね♥